

## 取組点検指標を用いた取組確認結果（東三河地域）

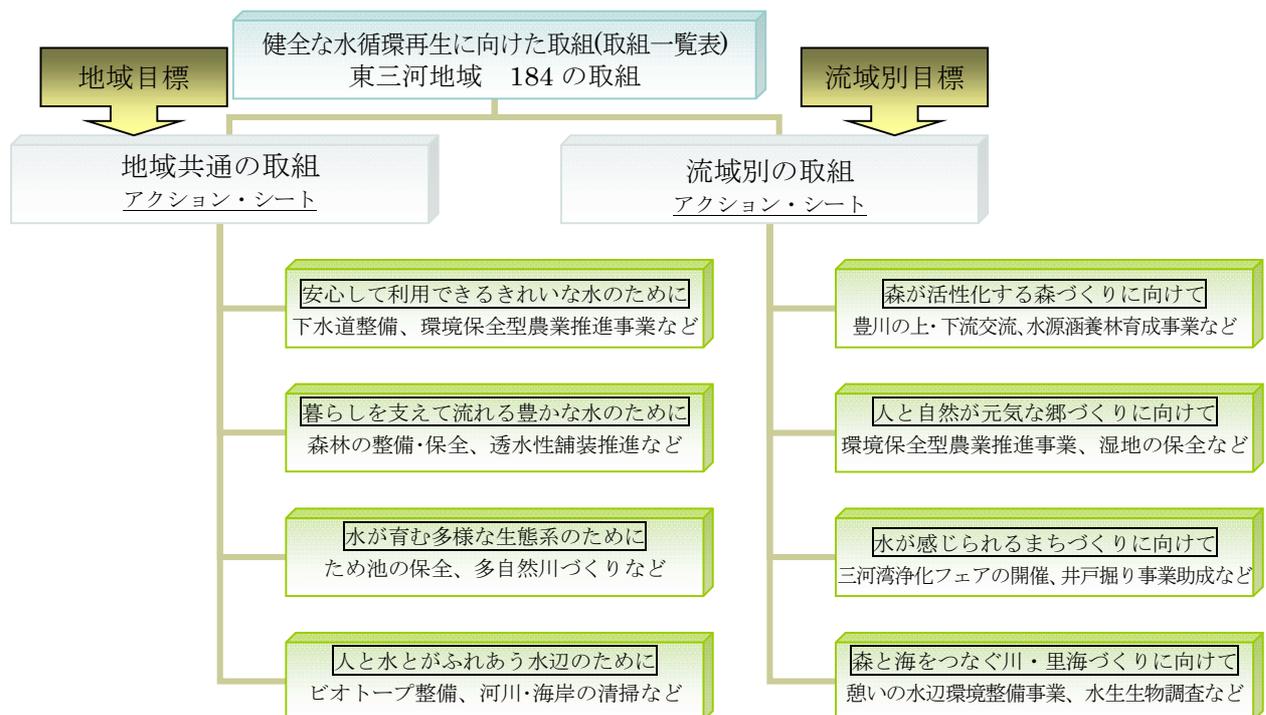
### 1 背景

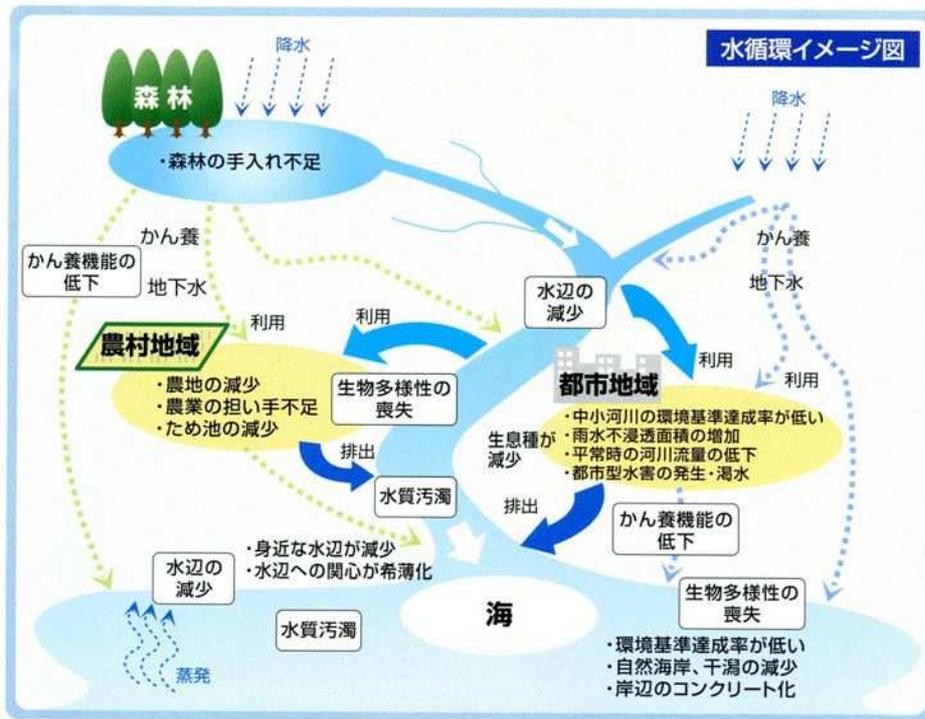
東三河地域水循環再生地域協議会では、行動計画の進捗状況を把握・点検するため、2008年度に「取組点検指標」を取りまとめ、2009年度から取組状況の確認を行っています。

「取組点検指標」は、地域で広く実施されている基盤的な取組である「地域共通の取組」と、地域に根ざした取組である「流域別の取組」が設定されています。

さらに、「地域共通の取組」は、水循環の機能である「きれいな水」、「豊かな水」、「多様な生態系」及び「ふれあう水辺」の4項目が、「流域別の取組」は、水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」、「郷づくり」、「まちづくり」及び「川、里海づくり」の4項目が設定されています。

#### 【取組点検指標の概念】





水循環のイメージ

### 水循環の機能で連携

上流から下流まで流域の全体にわたって、水循環の機能で連携した総合的な取組を実施。

- ①「きれいな水」のための取組
- ②「豊かな水」のための取組
- ③「多様な生態系」のための取組
- ④「ふれあう水辺」のための取組

---

### テーマで連携

水循環の再生につながる特定のテーマごとに関連する様々な対策を連携させることにより、対策相互の相乗効果や波及効果を生かして総合的な取組を実施。

- ① 森林の整備・保全の取組
- ② 農地保全の取組
- ③ まちづくりの取組
- ④ 海づくりの取組

① きれいな水

② 豊かな水

③ 多様な生態系

④ ふれあう水辺

① 森林の整備・保全

② 農地保全

③ まちづくり

④ 海づくり

---

### 取組活性化のための方策

取組全体の活性化と効果的な推進を図ります。

- ・環境学習の推進
- ・情報の共有化
- ・県民・事業者・民間団体・行政等の協働
- ・取組の検証・拡充

健全な水循環を取り戻す取組の方向性

## 2 東三河地域の取組点検指標及び取組実績（2023年度）

- ・東三河地域水循環再生地域協議会構成員 32 団体により、健全な水循環機能を取り戻すため様々な取組が実施されました（取組集計結果は別表参照）。
- ・地域共通の取組については、「きれいな水」の代表的な取組である、生活排水処理施設の整備（下水道の整備等）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が年々上昇しています。また、下水道施設の高度処理の導入も進んでいます。
- ・流域別の取組については、清掃活動や森林の整備、環境教育などが実施されています。

## 3 地域共通の取組の進捗確認

第4次の行動計画では、取組の進捗状況が示せるよう、地域共通の取組に目標値が設定されています。

（進捗状況の例）

- ・生活排水処理施設の整備は目標年度(2030)に向け整備が着実に進んでいます。
- ・雨水浸透施設等の設置や透水性舗装の整備、ため池の保全などは継続的に実施されています。
- ・海域の環境基準の達成率（50%）は目標（100%）を達成しませんでした。

## 4 その他

新たな取組として「生息魚類調査を市民参加で（豊川上漁業協同組合）」「環境学習授業・課外授業（朝倉川育水フォーラム）」が実施されています。アクションシートは、次頁以降のとおりです。

水循環再生に関連する取組（アクション・シート新規取組）

		構成員名		豊川上漁業協同組合			
取組名	生息魚類調査を市民参加で	機能区分	きれいな水	豊かな水	多様な生態系	ふれあう水辺	取組活性化
		テーマ区分	森づくり	郷づくり	まちづくり	川・里海づくり	
<p>取組の概要</p> <p>① 取組の目的や背景及び必要性  豊川水系では水源開発により川床をつくる礫の流下が長期にわたり途絶しており、生息魚類等への影響が懸念されている。市民参加で生息魚類（生物）の調査を実施している。（継続中）</p> <p>② 実施主体（事業主体、当事者など）  豊川上水辺保全会が呼びかけ。</p> <p>③ 実施内容、実施時期、実施場所など  漁協による採捕の他市民（小児の場合は保護者同伴）参加で、たも網や釣りなどで川の生き物を捕え、専門家による仕分けを経て生息生物の確認をする。  7月21日新城市地先の豊川</p> <p>④ 取組の連携・協働体制  流域の小中学校へ案内をしている。  関係機関（博物館、試験場等の協力をいただいている）。</p> <p>⑤ 関連する計画及び根拠となる法律  —</p> <p>⑥ 組点検指標の指標とする項目（例：整備延長○km）  —</p>							

水循環再生に関連する取組（アクション・シート新規取組）

		構成員名 朝倉川育水フォーラム					
取組名	環境学習授業・ 課外授業	機能区分	きれいな水	豊かな水	多様な生態系	ふれあう水辺	取組活性化
		テーマ区分	森づくり	郷づくり	まちづくり	川・里海づくり	
<p>取組の概要</p> <p>① 取組の目的や背景及び必要性                      本法人の活動を拡げ運動へと昇華させるべく、且つ共感者を増やすために次世代の担い手である青少年への啓蒙事業として、市内の朝倉川流域小中高校生に実施。毎年4月に開催される朝倉川530大会に参加する学校もあることから、その主旨や意義を知ってもらう要素も大切にしています。</p> <p>② 実施主体（事業主体、当事者など）                      本法人会員にて実施。</p> <p>③ 実施内容、実施時期、実施場所など                      生き物や水質を含む朝倉川の様々を伝えるべく、本法人が大切にしている「育水」の理念に基づく活動の紹介。フィールドで水質調査や生物モニタリングも実施。場所は依頼のあった学校、滝ノ谷池ビオトープや朝倉川中流域親水ステージ。時期は、小学校、中学校、高校からの依頼で随時。</p> <p>④ 取組の連携・協働体制                      主に学校からの依頼で直接本法人が実施しますが、豊橋市環境保全課(豊橋市生物多様性ネットワークづくり懇話会)より依頼があり実施する事もあります。</p> <p>⑤ 関連する計画及び根拠となる法律                      本法人の造語である「育水」の理念に基づき、2015年に提言をした「朝倉川流域ビジョン2015～朝倉川とともに、子どもたちの体験を持続可能なチカラに～」未来へのアクションプランの3. 絶滅危惧種「川ガキ(川で遊ぶ子ども)の再生」の実現に寄与する事業として実施。                      ※朝倉川育水フォーラム HP 上の「朝倉川流域ビジョン2015」参照。</p> <p>⑥ 組点検指標の指標とする項目（例：整備延長○km）</p>							

東三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績										目標値	目標年度	指標の説明		
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度					
きれいな水	<b>生活排水処理施設の整備 汚水処理全体</b>	汚水処理人口普及率(%)										汚水処理人口普及率(%)		100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100
	・下水道、集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	86.5%	88.1%	88.6%	89.3%	90.4%	90.7%	91.0%	91.6%	92.5%	92.5%	92.7%	100%	2030		
	<b>下水道の整備</b>	下水道普及率(%)										下水道普及率(%)		86.7%	2030	下水道処理人口/行政人口×100
	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	68.2%	68.6%	69.3%	70.0%	70.9%	71.2%	72.1%	73.2%	73.8%	73.8%	74.2%	86.7%	2030		
	<b>高度処理施設の導入(下水道整備の内)</b>	高度処理人口普及率(%)										高度処理人口普及率(%)		100%	2025	高度処理人口/行政人口×100
	・伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	45.7%	46.8%	47.5%	47.2%	48.9%	49.2%	49.9%	50.9%	53.0%	53.0%	54.8%	100%	2025		
	<b>農業集落排水施設の整備</b>	農業集落排水処理人口普及率(%)										農業集落排水処理人口普及率(%)		7.5%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100
	・農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設を保全、維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水処理施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	6.0%	6.2%	6.1%	6.0%	5.8%	5.6%	5.5%	5.5%	5.4%	5.4%	5.3%	7.5%	2030		
	<b>合併処理浄化槽の設置</b>	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)										合併処理浄化槽処理人口普及率(%)		—	—	
	・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	12.0%	13.1%	13.0%	13.2%	13.6%	13.8%	13.3%	12.7%	13.2%	13.2%	13.0%	—	—		
		合併処理浄化槽の基数割合(%)										合併処理浄化槽の基数割合(%)		100%	2030	合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
		38.3%	39.3%	40.7%	41.7%	42.4%	43.2%	43.6%	44.6%	45.3%	45.3%	45.8%	100%	2030		
	<b>コミュニティプラントの整備</b>	コミュニティプラント処理人口普及率(%)										コミュニティプラント処理人口普及率(%)		0.12%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
	・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	0.2%	0.2%	0.24%	0.24%	0.15%	0.15%	0.15%	0.15%	0.14%	0.14%	0.14%	0.12%	2030		
	<b>干潟・浅場造成事業</b>	干潟・浅場造成面積(ha)										干潟・浅場造成面積(ha)		471ha	2014~2038	干潟・浅場を造成した面積
・水質・底質の悪化により低下した漁場生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	1.0ha	1.1ha	0.1ha	1.0ha	1.4ha	1.7ha	2.8ha	3.7ha	8.0ha	8.0ha	7.2ha	471ha	2014~2038			
<b>河川等公共用水域水質監視</b>	河川(BOD)の環境基準達成率(%)										河川(BOD)の環境基準達成率(%)		100%	毎年	河川(BOD)は東三河地域のみ環境基準達成率	
・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	100%	100%	100%	100%	100%	100%	90%	100%	100%	100%	100%	100%	毎年			
	海域(COD)の環境基準達成率(%)										海域(COD)の環境基準達成率(%)		100%	毎年	海域(COD)は渥美湾のみ環境基準達成率	
	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	100%	毎年			
<b>水生生物調査</b>	実施箇所数										実施箇所数		前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数	
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	28箇所	37箇所	28箇所	36箇所	29箇所	30箇所	3箇所	—	15箇所	15箇所	20箇所	前年増	単年			
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)		前年増	単年		
	668人	591人	533人	633人	411人	723人	8人	—	131人	131人	314人	前年増	単年			
<b>流域モニタリング一斉調査</b>	実施箇所数										実施箇所数		前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数	
・住民と行政が連携・協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	10箇所	19箇所	20箇所	25箇所	18箇所	36箇所	43箇所	33箇所	53箇所	53箇所	37箇所	前年増	単年			
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)		前年増	単年		
	119人	104人	124人	131人	88人	296人	111人	98人	210人	210人	163人	前年増	単年			
<b>伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化)</b>	施策実施状況(件)										施策実施状況(件)		継続実施	継続実施	各機関の施策実施状況	
・伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	215件	217件	218件	219件	219件	219件	219件	219件	221件	221件	221件	継続実施	継続実施			
<b>三河湾環境再生プロジェクト</b>	サポーター数(人)										サポーター数(人)		継続実施	継続実施	サポーター数	
県民、NPO、企業、関係団体、教育機関、行政等が一体となって、三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高めるため、「三河湾環境再生パートナーシップクラブ」と連携・協働し、三河湾の環境再生について関心を深める事業を実施するとともに、NPO等の活動支援を行う。		375人	649人	1,025人	1,284人	1,924人	2,126人	2,295人	2,724人	2,724人	3,313人	継続実施	継続実施			
<b>河川・海岸の清掃</b>	実施回数(回)										実施回数(回)		前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	178回	167回	142回	187回	133回	37回	37回	33回	36回	36回	54回	前年増	単年			
	実施箇所数										実施箇所数		前年増	単年		
	170箇所	134箇所	206箇所	246箇所	212箇所	147箇所	155箇所	75箇所	85箇所	85箇所	35箇所	前年増	単年			
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)		前年増	単年		
	27,169人	23,237人	28,954人	28,134人	18,427人	7,183人	7,224人	5,143人	4,529人	4,529人	4,075人	前年増	単年			

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績										目標値	目標年度	指標の説明
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			
豊かな水	<b>森林の整備</b> ・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	2,362ha	2,397ha	2,497ha	1,845ha	1,881ha	1,508ha	1,259ha	1,206ha	1,211ha	967ha	4,000ha (県域)	—	間伐を実施した面積
	<b>水源地域の森林整備</b> ・(公財)豊川水源基金の水源林対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備及び作業路新設への助成を行う。	342.6ha	339.8ha	368.2ha	363.0ha	344.4ha	371.5ha	289.0ha	289.0ha	248.0ha	206.3ha	継続実施	単年	間伐を実施した面積
	<b>雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む)</b> ・降雨時における雨水流出抑制を図ることで、河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不用品となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	35基	31基	22基	10基	2基	9基	10基	142基	147基	152基	継続実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽・雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	<b>ため池の保全</b> ・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。			23箇所	104箇所	247箇所	98箇所	94箇所	93箇所	91箇所	90箇所	継続実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	<b>透水性舗装の推進</b> ・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。	1,450㎡	965㎡	1,978㎡	10,850㎡	1,348㎡	920㎡	3,725㎡	4,292㎡	1,783㎡	585㎡	継続実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積
	<b>多自然川づくり</b> ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	—	1.3km	2.2km	4.0km	4km	2km	継続実施	単年	県内全域での実績
多様な生態系	<b>干潟・浅場の保全・再生(再掲「きれいな水」)</b> ・多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。	1.0ha	1.1ha	0.1ha	1.0ha	1.4ha	1.7ha	2.8ha	3.7ha	8.0ha	7.2ha	471ha 2014 ~2038	単年	干潟・浅場を造成した面積
	<b>水生生物調査(再掲「きれいな水」)</b> ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	28箇所	37箇所	28箇所	36箇所	29箇所	30箇所	3箇所	—	15箇所	20箇所	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
	<b>河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)</b> ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	178回	167回	142回	187回	133回	37回	37回	33回	36回	54回	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	<b>ため池の保全(再掲「豊かな水」)</b> ・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。			23箇所	104箇所	247箇所	98箇所	94箇所	93箇所	91箇所	90箇所	継続実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	<b>多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)</b> ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	—	1.3km	2.2km	4.0km	4km	2km	継続実施	単年	県内全域での実績
	<b>河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)</b> ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	178回	167回	142回	187回	133回	37回	37回	33回	36回	54回	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
ふれあう水辺	<b>多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)</b> ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	178回	167回	142回	187回	133回	37回	37回	33回	36回	54回	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	<b>河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)</b> ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	170箇所	134箇所	206箇所	246箇所	212箇所	147箇所	155箇所	75箇所	85箇所	35箇所	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
		27,169人	23,237人	28,954人	28,134人	18,427人	7,183人	7,224人	5,143人	4,529人	4,075人	前年増	単年	

東三河地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績										
				2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
<b>豊川・天竜川等流域</b> 【課題】 ○豊川放水路では赤潮の発生による水質の悪化が見られる。 ○宇連川下流域においては、定期的に水濡れ状態となり、河川環境への影響が見られることがある。 ○水源地である森林は森林の手入れ不足を防ぐための取組が重要となっている。 【目標】 ☆森づくりによる美しい自然と健康で豊かな生活環境との調和 <上流部> ○自然と良好な景観・清流の保全 <中下流> ○動植物の生息・生育環境の保全と環境学習、人とのふれあいや安らぎの空間としての利用	森づくり	<b>水源地の森林整備</b> ・(公財)豊川水源基金の水源地対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地の森林整備及び作業路新設への助成を行う。 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村、清水町 ※報告機関:清水資源課	間伐面積 (ha)	342.6ha	339.8ha	368.2ha	363.0ha	344.4ha	371.5ha	289.0ha	231.1ha	248.0ha	206.3ha	
		<b>豊川流域の森林整備</b> ・間伐や下草刈りなどの森林整備を行う。 (NPO)緑の国森づくりの会) 2021年度まで	整備面積 (ha)	5ha	5ha	6ha	10ha	7ha	-	-	5ha	-	-	
		<b>里山づくり</b> ・朝倉川に環境の指標生物であり人々の郷愁をさそうホタルがかつてのように自生する状態を実現することを目指し、里山のメンテナンス(下草刈り、ザリガニ駆除)を行う。 朝倉川育フオーラム	整備面積 (ha)	-	2ha	2ha	2ha	-	-	-	2ha	2ha	1.18ha (ピオトープエリア0.66ha、里山エリア0.5ha)	
		<b>分収育林事業</b> ・水源林の保全・かん養に「分収育林」という形でお手伝いする。 ・上・下流域の交流を通じて相互の理解を深め、水の大切さの理解を深める。 蒲郡市、田原市、設楽町	実施回数 (回)	15回	14回	14回	12回	-	-	-	12回	24回	22回	
		<b>間伐材の利用促進</b> ・間伐材の利用を通じて水の大切さ、水源林保全の大切さを訴えとともに、上下流域の交流を図る。 蒲郡市	延べ参加人数 (人)	500人	300人	200人	200人	-	-	-	300人	360人	250人	
		<b>間伐材の利用促進</b> ・豊根村木サイクルセンターが間伐材(原木)買取時に1本あたり50円上乗せする。 豊根村	事業費 (円)	830,000円	920,000円 (調り益・補助金等セーフティネット)	920,000円	920,000円	-	-	-	920,000円	920,000円	920,000円	920,000円
		<b>小学校訪問授業・野外体験授業</b> ・森林のはたらき(水源涵養等)や森林整備の重要性等についての出前授業・体験授業を実施する。 (NPO)緑の国森づくりの会) 2021年度まで	材積	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		<b>水源地交流事業(豊川流域における上下流域交流)</b> ・下流域である蒲郡市民と上流域の新城市(鳳来地区)、設楽町民が相互に訪問して、相互の環境・文化等を理解するための交流を行う。 蒲郡市、新城市、設楽町	実施回数 (回)	15回	21回	21回	21回	18回	-	-	1回	-	-	
		<b>豊川流域における上下流域交流【2015終了】</b> ・交流拠点施設ふれあいの館(グリーンメッセージ・設楽町(旧津具村地内)宿泊者数。 田原市	実施回数 (回)	9回	9回	7回	7回	4回	3回	0回	0回	0回	2回	4回
		<b>畜産環境対策の推進【2019終了】</b> ・家畜排せつ物処理施設の設備、機械の修繕に対し補助金を交付する。 豊橋市	人数 (人)	984人	1,250人	303人	310人	128人	95人	0人	0人	91人	162人	
		<b>湿地・湿原の保全</b> ・巡視・下草刈りなど湿地・湿原の保全整備を行う。 新設設楽振興事務所、東三河総局	宿泊者数 (人)	1,702人 (市民976人)	1,832人 (市民1,031人)	-	-	-	-	-	-	-	-	
		<b>合流式下水道の改善</b> ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。 豊橋市	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	
		<b>水環境保全のための啓発</b> ・水環境保全啓発事業の一環として、イベントへ参加し、水環境改善へ向けた意識を啓発する。 豊橋市	実施回数 (回)	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	
			見回り回数 (回)	54回	54回	54回	27回	27回	54回	54回	54回	54回	54回	
			実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	
			スクリーン設置 (2箇所)	-	-	2箇所	吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置箇所:0	1箇所(雨水処理室曝気上付)	豊川流域下水道への切替えに係る工事	豊川流域下水道への切替えに係る工事 雨水貯留施設の設置に係る工事	豊川流域下水道への切替えに係る工事 雨水貯留施設の設置に係る工事	豊川流域下水道への切替えに係る工事 雨水貯留施設の設置に係る工事	ポンプ種の追加能力向上 雨水貯留施設の設置に係る工事	
			延べ参加人数 (人)	530のまち環境フェスタ 5,000人	530のまち環境フェスタ 7,500人	530のまち環境フェスタ 8,000人	豊橋みなとフェスティバル 2,000人	豊橋みなとフェスティバル 2018:2,000人	豊橋みなとフェスティバル 2019:2,000人	豊橋みなとフェスティバル 2020中止 0人	豊橋みなとフェスティバル 2021中止 0人	豊橋みなとフェスティバル 2022 2000人	豊橋みなとフェスティバル 2023 2000人	

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績									
				2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
豊川・天竜川等流域	まちづくり	<b>学校における環境教育(豊川流域における体験学習) 【第3次計画まで】</b> ・ 夏休み期間中に小学校高学年を対象に参加者を募集し、市内を流れる豊川について体験を通して学習する。 ・ 申し込みのあった小中学校等に出向き出前講座を実施する。	豊川市	実施回数(回)							-	-	-
				8回	5回	4回	6回	-	6回	0回			
				実施箇所数							-	-	-
				8箇所	5箇所	4箇所	6箇所	-	6箇所	0箇所			
				延べ参加人数(人)							-	-	-
				151人	107人	79人	136人	-	141人	-			
	川・里海づくり	<b>新倉川の清掃活動</b> ・ 新倉川に環境の指標生物であり人々の郷愁をさそうホタルがかつてのように自生する状態を実現することを目指し、市民・企業・行政の三者のパートナーシップにより河川の再生と地域環境改善を図る。	朝倉川青水フォーラム	延べ参加人数(人)							延べ参加人数(人)		
				3,221人	2,500人	3,000人	2,361人	-	-	-	3,000人	2,050人	1,785人
				ごみの重(kg)							実施回数(回)		
				5,510kg	2,200kg	2回	2回	-	-	-	2回	2回	2回
				実施箇所数							実施箇所数		
						2箇所	2箇所	-	-	-	1箇所	朝倉川全川 寺門橋～多米橋	朝倉川全域と 内山川合流付近
		<b>川と海のクリーン大作戦</b> ・ 閉鎖性水域である三河湾の浄化を目的とした流域河川の清掃を行う。	豊川市、新城市、豊橋河川事務所 (報告機関:市町村)	実施回数(回)							実施回数(回)		
				7回	4回	3回	2回	3回	2回	3回	-	2回	2回
				実施箇所数							実施箇所数		
				68箇所	73箇所	57箇所	69箇所	63箇所	8箇所	76箇所	-	8箇所	8箇所
				延べ参加人数(人)							延べ参加人数(人)		
				4,362人	5,078人	5,387人	4,093人	3,040人	455人	4,644人	-	430人	431人
	<b>しんしろクリーンフェスタ</b> ・ 市民・事業所・行政が協働で清掃活動に取り組み、美しいまちづくり、市民の環境保全に対する意識の高揚を図る。	新城市	実施回数(回)							実施回数(回)			
			1回	1回	1回	1回	1回	2回	2回	122回	137回	120回	
			実施箇所数							実施箇所数			
			13箇所	39箇所	79箇所	52箇所	80箇所	114箇所	74箇所	104箇所	137箇所	120箇所	
			延べ参加人数(人)							延べ参加人数(人)			
			1,602人	2,576人	3,539人	1,546人	3,752人	4,281人	4,464人	6,154人	8,496人	7,110人	
	<b>水生生物調査</b> ・ 身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市町、豊橋河川事務所、 県水大気環境課 (※報告機関:豊橋河川事務所、 県水大気環境課)	実施箇所数							実施箇所数			
			19箇所	30箇所	26箇所	27箇所	22箇所	22箇所	3箇所	-	10箇所	13箇所	
			延べ参加人数(人)							延べ参加人数(人)			
551人			486人	471人	515人	280人	700人	8人	-	131人	273人		
観察会実施回数(回)							観察会実施回数(回)						
1回			1回	1回	1回	-	-	-	-	-	6回(河川調査4回、市民参加型河川調査1回含む。)		
<b>ホテルの調査・観察</b> ・ 豊橋の環境改善の象徴として、市街地を流れ多くの市民に親しまれている新倉川に、環境の指標生物であり人々の郷愁をさそうホタルがかつてのように自生する状態を実現することを目指し、市民・企業・行政の三者のパートナーシップにより河川の再生と地域環境改善を図るための具体的活動を行う。	朝倉川青水フォーラム	延べ参加人数(人)							延べ参加人数(人)				
		20人	50人	50人	100人	-	-	-	-	-	120人		
		実施回数(回)							実施回数(回)				
		8回	5回	4回	6回	-	6回	0回	-	-	-		
		実施箇所数							実施箇所数				
		8箇所	5箇所	4箇所	6箇所	-	6箇所	0箇所	-	-	-		
<b>学校における環境教育(豊川流域における体験学習)(再掲) 【第3次計画まで】</b> ・ 夏休み期間中に小学校高学年を対象に参加者を募集し、市内を流れる豊川について体験を通して学習する。 ・ 申し込みのあった小中学校等に出向き出前講座を実施する。	豊川市	延べ参加人数(人)							延べ参加人数(人)				
		151人	107人	79人	136人	-	141人	-	-	-	-		
		実施回数(回)							実施回数(回)				
		-	5回	4回	6回	6回	6回	0回	5回	3回	3回		
		実施箇所数							実施箇所数				
		-	5箇所	4箇所	6箇所	6箇所	6箇所	0箇所	5箇所	3箇所	3箇所		
<b>川に関する 出前講座</b> ・ 小学校・中学校において、川の役割(治水・利水・環境)と身近な川について紹介する出前講座を実施する。 ・ 生活排水が川や海を汚す大きな原因となっていることについて理解を深め、自分たちでできることは何かを考え、実践してもらったため、簡易な実験を交えた講座であり、随時申込のあった小中学校等に出向き実施している。	豊川市	延べ参加人数(人)							延べ参加人数(人)				
		-	107人	79人	136人	171人	141人	-	143人	84人	148人		

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績											
				2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
三河湾沿岸域 (豊川・蒲郡等)	森づくり	<b>分収育林事業(再掲)</b> ・水源林の保全・かん養に「分収育林」という形でお手伝いする。 ・上・下流域の交流を通じて相互の理解を深め、水の大切さの理解を深める。	蒲郡市、田原市、設楽町	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	-	32.9ha	32.9ha	32.9ha	46.3ha	46.3ha		
		<b>間伐材の利用促進(再掲)</b> ・間伐材の利用を通じて水の大切さ、水源林保全の大切さを訴えとともに、上下流域の交流を図る。	蒲郡市	830,000円	920,000円 (御り谷・積み木セット7セット)	920,000円	920,000円	-	-	920,000円	920,000円	920,000円	920,000円		
		<b>小学校訪問授業・野外体験授業【2021終了】</b> ・森林のはたらき(水源涵養等)や森林整備の重要性等についての出前授業・間伐等の森林整備体験授業を実施する。	(NPO様の国森づくりの会) 2021年度まで	4回	1回	3回	2回	1回	-	6回	8回	-	-		
		<b>水源地域交流事業(豊川流域における上下流交流)(再掲)</b> ・下流域である蒲郡市民と上流域の新城市民(鳳来地区)、設楽町民が相互に訪問して、相互の環境・文化等を理解するための交流を行う。	蒲郡市、新城市、設楽町	9回	9回	7回	7回	4回	3回	0回	0回	2回	4回		
		<b>豊川流域における上下流交流【2015終了】(再掲)</b> ・交流拠点施設ふれあいの館(グリーンメッセージ・設楽町(旧津具村地内)宿泊者数。	田原市	984人 (市民1,702人)	1,250人 (市民1,832人)	303人	310人	128人	95人	0人	0人	91人	162人		
		<b>郷づくり</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	【課題】 ○沿岸域では、干潟・浅場の造成、浸透性の修復などが実施されてきたが、引き続き赤潮や貧酸素水塊の発生が懸念されることから、さらに海域環境の改善対策が必要となっている。	【目標】 ☆自然と風景と文化が調和したふれあいの空間としての水辺 ☆魚などの生き物が豊かな水がきれいで散歩などが楽しめる景観にすぐれた川 ○貧酸素水塊の抑制や干潟の造成など生物の生息環境の改善	まちづくり	蒲郡市井戸掘り事業助成金 ・井戸水の効率的利用の促進、節水意識野向上を図るため、公益目的の井戸掘りに助成する。 <b>環境学習講座の実施</b> ・夏休み期間中に小学校高学年を対象に参加者を募集し、市内を流れる川について体験を通じて学習する。	蒲郡市	1件	-	-	-	-	-	0件	0件	1件	0件
			川・里海づくり	<b>港湾環境整備事業</b> ・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。 <b>浸透性の修復</b> ・三河湾に点在する浸透性等を埋め戻し、貧酸素水塊の発生を抑える。	三河港務所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			川・里海づくり	<b>水生生物調査</b> ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市町、県水大気環境課 (報告機関:県水大気環境課)	8箇所	6箇所	6箇所	5箇所	4箇所	7箇所	-	-	5箇所	6箇所
						107人	100人	106人	12人	12人	13人	-	-	20人	12人

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績										
				2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
三河湾・外海沿岸域 (渥美半島等)	森づくり	<b>小学校訪問授業・野外体験授業【2021終了】</b> ・森林のはたらき(水源涵養等)や森林整備の重要性等についての出前授業間伐等の森林整備体験授業を実施する。	(NPO)の国森づくりの会) 2021年度まで	実施回数(回)										
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	郷づくり	<b>畜産環境対策の推進【2019終了】(再掲)</b> ・家畜排せつ物の適正な管理を進めることで畜産経営による周辺環境対策を推進する。	豊橋市	実施内容										
				家畜排せつ物処理施設の稼働補助(補助件数2件)	家畜排せつ物処理施設の稼働補助(補助件数2件)	-	終了	終了	終了	-	-	-	-	-
				堆肥化施設等の補助件数										
				3件	1件	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				環境基準達成率(%)										
				100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
				環境基準達成率(%)										
				100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
				環境基準達成率(%)										
				100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
				環境基準達成率(%)										
				1,500人	雨天中止	雨天中止	1,000人	梅田川ふれあいクリーン作戦2018: 雨期により中止	1,000人	-	-	-	-	
				実施回数(回)										
				雨天中止	1回	雨天中止	1回	雨天中止	1回	-	-	-	-	
				実施箇所数										
				雨天中止	2箇所	雨天中止	2箇所	雨天中止	2箇所	-	-	-	-	
				延べ参加人数(人)										
				530のまち環境フェスタ 5,000人	530のまち環境フェスタ 7,500人	530のまち環境フェスタ 8,000人	豊橋みなとフェスティバル 2,000人	豊橋みなとフェスティバル 2018: 2,000人	豊橋みなとフェスティバル 2019: 2,000人	豊橋みなとフェスティバル 2020中止 0人	豊橋みなとフェスティバル 2021中止 0人	豊橋みなとフェスティバル 2022 2000人	豊橋みなとフェスティバル 2023 2000人	
			延べ参加人数(人)											
			530のまち環境フェスタ 5,000人	530のまち環境フェスタ 7,500人	530のまち環境フェスタ 8,000人	豊橋みなとフェスティバル 2,000人	豊橋みなとフェスティバル 2018: 2,000人	豊橋みなとフェスティバル 2019: 2,000人	豊橋みなとフェスティバル 2020中止 0人	豊橋みなとフェスティバル 2021中止 0人	豊橋みなとフェスティバル 2022 2000人	豊橋みなとフェスティバル 2023 2000人		
			延べ参加人数(人)											
			1,500人	雨天中止	雨天中止	1,000人	梅田川ふれあいクリーン作戦2018: 雨期により中止	1,000人	-	-	-	-		
			実施回数(回)											
			雨天中止	1回	雨天中止	1回	雨天中止	1回	-	-	-	-		
			実施箇所数											
			雨天中止	2箇所	雨天中止	2箇所	雨天中止	2箇所	-	-	-	-		
			延べ参加人数(人)											
			58回	54回	27回	47回	10回	35回	1回	19回	2回	40回		
			実施回数(回)											
			15箇所	17箇所	19箇所	23箇所	7箇所	35箇所	9箇所	24箇所	13箇所	20箇所		
			実施箇所数											
			約4,300人	4,680人	3,170人	6,130人	235人	1,455人	855人	2,125人	2,125人			
			延べ参加人数(人)											
			10人	5人	9人	75人	10人	10人	-	-	0人	29人		
			延べ参加人数(人)											

【課題】  
○汐川干涸は、渚り鳥の飛来地であるとともに、多くの干潟の生物が生息し、海域の水質浄化に寄与することから、干潟の保全・再生の取組が重要となっている。

【目標】  
☆人と自然が共生する汐川干潟  
☆自然景観に恵まれた川  
○貝類や野鳥が沢山みられ、人が安心して関わりあえる干潟  
○環境に配慮した農業の推進による河川などの汚濁の改善